

新潟工科大学と東京電力ホールディングス株式会社との
「東京電力柏崎レジリエンスセンター」建設・整備ならびに活用等に関する
産学連携の取り組みの協定締結について

2023 年 4 月 19 日

新潟工科大学

東京電力ホールディングス株式会社

新潟工科大学と東京電力ホールディングス株式会社は、本日、東京電力柏崎レジリエンスセンター（以下、「東京電力柏崎RC」という。）の建設・整備ならびに活用等に関する産学連携の取り組みに際し、下記のとおり協定を締結いたしました。

本協定に基づき、両者は地域の防災力向上や賑わいの創出を目指し協力してまいります。

1. 協定の概要

- （1）新潟工科大学と東京電力ホールディングス株式会社は、東京電力柏崎RCの緑地エリア部分の建設・整備に際し、協働で設計・デザインをおこなうこと
- （2）新潟工科大学は、東京電力柏崎RCを活用し、学生に学びと実践の場を提供すること
- （3）新潟工科大学と東京電力ホールディングス株式会社は、産学連携の取り組みを通じて、地域の防災力向上、地域の賑わい創出に向け、共に協力し努めていくこと

2. 協定締結日

- ・ 2023 年 4 月 19 日

3. 添付資料

- ・ 「東京電力柏崎レジリエンスセンター」の建設・整備ならびに活用等に関する産学連携の取り組みについて

4. 建築計画イメージ



 **一般開放エリア**
〔最大範囲〕

平時の活用方法を協働検討

屋根つき・平面駐車場

 **緑地エリア**
〔防災機能が整備された広場〕

設計・デザインを協働検討

※関連リンク先

・[「東京電力柏崎レジリエンスセンター」 建設計画について](#)

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

新潟工科大学

地域産学交流センター TEL : 0257-22-8110

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

「東京電力柏崎レジリエンスセンター」の建設・整備 ならびに活用等に関する産学連携の取り組みについて

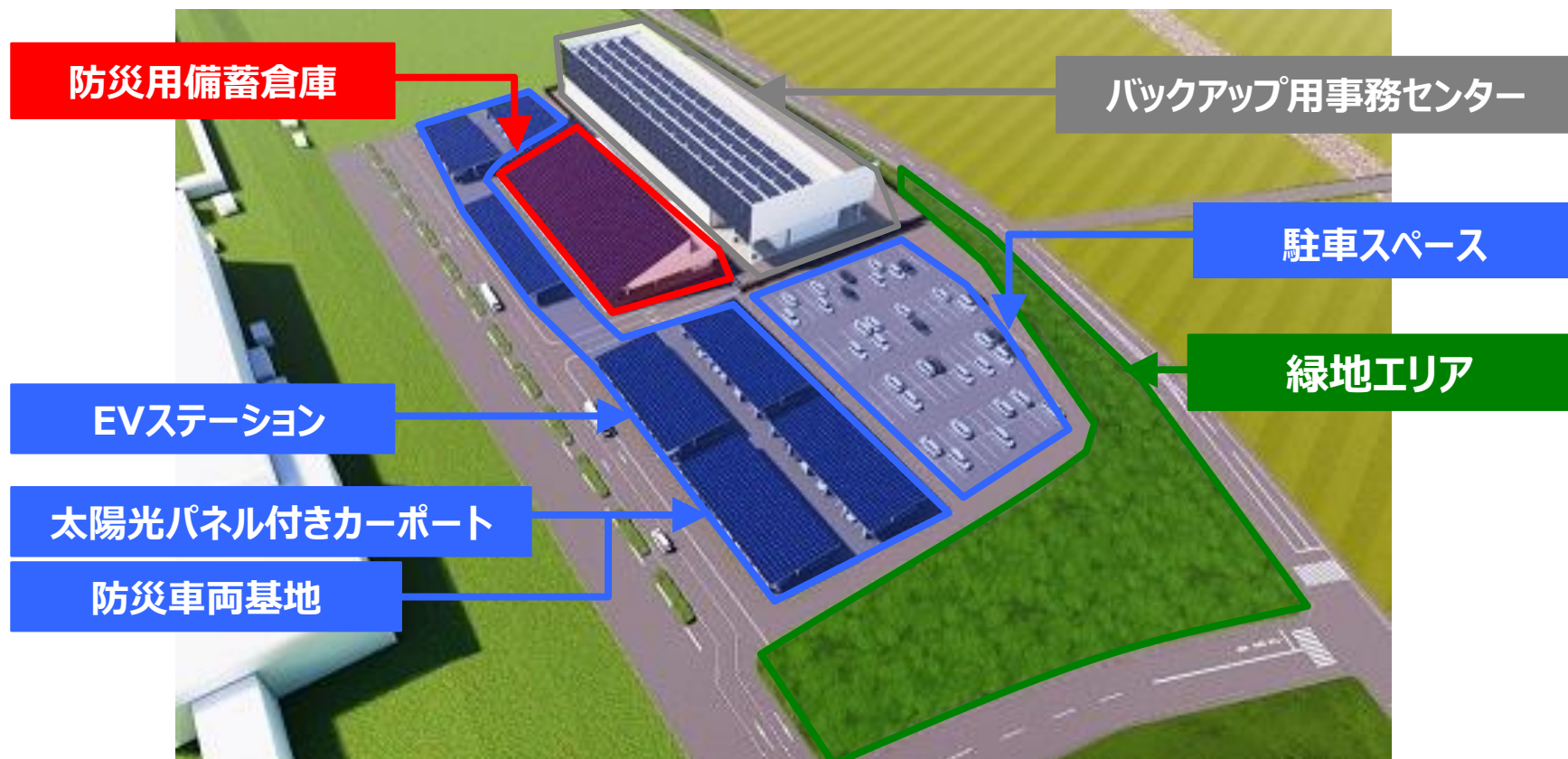
2023年4月19日

新潟工科大学
東京電力ホールディングス株式会社

- 東京電力柏崎レジリエンスセンターの概要
- 新潟工科大学と東京電力ホールディングスの産学連携の取り組み

1. 東京電力柏崎レジリエンスセンターの概要

- 東京電力ホールディングスは、近年激甚化する災害への備えや対応力向上のため、首都圏と同時被災リスクの少ない日本海側の柏崎市田尻工業団地内に「東京電力柏崎レジリエンスセンター」を建設
- 事業継続に必要なバックアップ用事務センターを備え、電力安定供給の復旧に必要な資機材を保管する防災用備蓄倉庫、非常時は防災機能が整備された広場として、地域の方々に開放する緑地エリア等の機能を有する



- ・新潟県柏崎市大字安田字土山7546-3(田尻工業団地内)、柏崎ICから車で6分
- ・敷地面積29,142.75㎡
- ・建物着工予定 2024年7月、建物竣工予定 2026年3月

2. 新潟工科大学と東京電力ホールディングスの産学連携の取組み

- 新潟工科大は、令和元年度、建築都市学系に「都市防災コース」を設置。安心・安全な建築・都市を創造する技術についての教育プログラムを開始
- 令和四年度は、地域安全・安心研究センターを設置。地域課題解決に関する研究を推進する体制を整備

- 新潟工科大で都市防災を学ぶ学生と東京電力ホールディングスの協働で、緑地エリアの設計デザインに関する意見交換会を2022年12月より開始

〈検討事項〉

- 災害が起きた時、地域防災の観点から防災機能が整備された広場にはどのような機能が必要か
 - 非常時のために平時からどのような備えが必要か
 - 平時の地域の賑わい創出への利活用について、どのようなことが考えられるか
- ※ ワークショップには、都市防災コース、建築コースの学生26名が参加



※公益社団法人 中越防災安全推進機構監修

- ✓ 安心・安全な建築・都市を創造する実践的な教育の場として、学生自らが考えたデザイン案が実際の空間として実現する機会
- ✓ 企業による実際の設計・デザイン業務では、何が必要となるか社会人の方々と直接かわりながら学ぶことができる貴重な機会

3. 防災用備蓄倉庫の活用イメージ

防災用備蓄倉庫

①電力の安定供給や復旧に必要な資機材の備蓄

非常食、保存水、復旧に必要な資機材（ブルーシート等）を備蓄。非常災害時には地域防災のために活用

②復旧支援の指揮所

自社のみならず電力会社間での広域応援時など、指揮所として活用

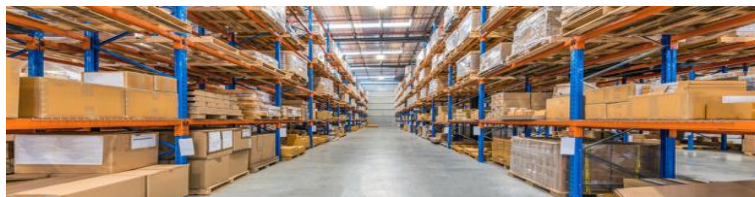
③防災教育の場としての活用

地域の防災教育、非常災害訓練など、地域の防災力向上・啓発のために活用



（1階）備蓄倉庫

- 最新性の管理の仕組みを導入し、入荷～棚卸までを安全、効率的に実施
- 駐車場との段差を無くし搬出入の安全性を向上



（2階）会議室

- 防災教育、AED講習、避難所設営訓練
- 防災関連授業で地元地域に認知いただけるエリアへ



4. EVステーション・太陽光パネル付きカーポート・防災車両基地・駐車スペースの活用イメージ

EVステーション

充電機能を活用した地域貢献

EVステーション



EVバス



太陽光パネル付きカーポート・防災車両基地

災害復旧に従事する車両の集約、
基地拠点として利用

駐車スペース

各種イベントの活用で賑わい創出・地域の防災力向上

非常災害訓練



イベント利用（キッチンカー、お花見）



太陽光パネル付きカーポート



電力会社間での広域応援の拠点としての活用



課外授業、消防訓練



車中泊避難

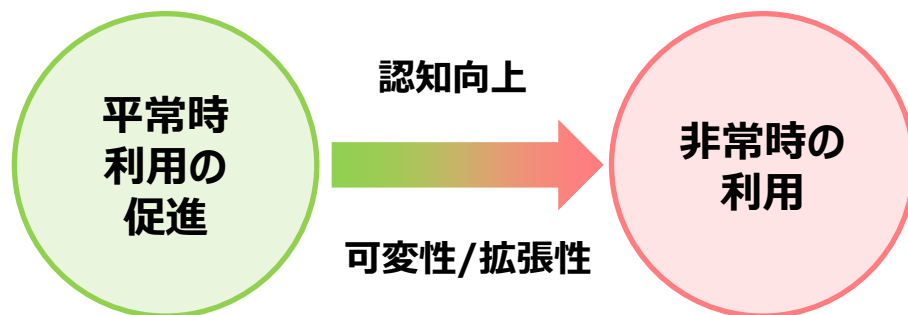


5. 緑地エリアの活用イメージ

緑地エリア

- ① 非常時は防災機能が整備された広場として、地域の方々へ開放
- ② 平常時は地域イベント等でご活用いただき、地域の賑わい創出に貢献

平常時利用を高めることで、非常時にも利用できる施設であることを地域の方々に知っていただく



(新潟県が推進する「防災産業クラスター」形成に資する)



マンホールトイレ



防災井戸



かまどベンチ

